

市制施行10周年の節目の年を 希望に満ちた未来へつなげる新たなスタートに 「安全・安心、そして快適で元気な清須」を実現!



平成27年度市政運営

～本年度予算に盛り込んだ主な新規・拡充等の事業を7つの施策で紹介～

本市は、本年7月に市制施行10周年、また9月には東海豪雨災害発生から15年を迎えます。本市が誕生して以来、市民の皆様の交流の輪が広がり、市としての一体感の醸成が進んできていると感じております。更には、本市が合併した目的であります本格的な少子高齢化社会への対応、地域の共通の課題でありました総合的な治水対策や防災対策、そして、公共施設の統廃合など行財政基盤の強化も着実に推進し、一定の成果を上げてこられたと思っております。これまでの本市の歩みを振り返り、この記念すべき年を市民の皆様とともに祝い、未来に向けて協働のまちづくりを進める機会にしたいと考えております。



加藤静治市長

一方、国の動向を見ますと、世界に先駆けて「人口減少・超高齢化社会」を迎えている我が国において、人口減少を克服し、地方創生を成し遂げることを目指して、国は昨年末に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

更には、経済の脆弱な部分に的を絞り、経済の好循環を確かなものとするとともに、その成果を地方に早く広く行き渡らせることを目指して、「地方の好循環拡大に向けた緊急経済対策」が閣議決定されました。それを実行するための平成26年度補正予算が、国会で成立したところであります。本市におきましても、こうした国の施策に呼応した地方創生や地域経済の活性化に向けた取り組みを、積極的に進めていかなければならないと考えております。

これまでと同様、絆を大切にするまちづくりを継続し、「安全・安心、そして快適で元気な清須」の実現を目指して、この節目の年を希望に満ちた未来へつなげる新たなスタートにしたいと思えます。市民の皆様には、引き続き、市政に対するご理解とご協力をお願いいたします。



安全・安心で自然が息づくまちづくり

- ◆自転車等駐車場の整備〔新規〕
- ◆すべてのごみ袋を手提げ型に順次変更〔拡充〕
- ◆雨水貯留施設の整備及び詳細設計の実施〔継続〕
- ◆東海豪雨の記憶を風化させない事業の実施〔新規〕
- ◆地域防災計画の見直しに着手〔新規〕
- ◆雨水幹線・管渠を整備〔継続〕
- ◆雨水ポンプ場を整備〔継続〕

健康で思いやりのあふれるまちづくり

- ◆臨時福祉給付金等を支給〔継続〕
- ◆西枇杷島地区に新保育園を整備〔継続〕
- ◆新清洲保育園の耐震改修等に着手〔新規〕
- ◆認定子ども園の整備を支援〔新規〕
- ◆小規模保育事業を実施〔新規〕
- ◆病児・病後児保育事業を実施〔新規〕
- ◆放課後児童クラブの対象学年を拡大〔拡充〕
- ◆新川児童センターを整備〔継続〕
- ◆2次救急医療の医療機器整備を支援〔拡充〕
- ◆西枇杷島第1幼稚園の改修に着手〔新規〕
- ◆男女共同参画推進懇話会を設置〔新規〕

水と緑に恵まれうるおいのあるまちづくり

- ◆水辺の散策路を整備〔継続〕
- ◆都市公園を整備〔新規〕
- ◆全国都市緑化あいちフェアを推進〔新規〕
- ◆都市公園施設の長寿命化を実施〔継続〕



◆高架化事業を推進する名鉄名古屋本線

創造的にいきいきと働くことのできるまちづくり

- ◆中小企業者の再投資を支援〔新規〕
- ◆ボランティア武将隊を結成〔新規〕

新しい時代に対応した参加と交流のまちづくり

- ◆文書管理システムの構築に着手〔新規〕
- ◆固定資産台帳の整備を実施〔新規〕
- ◆防災拠点として機能できる災害に強い庁舎を整備〔新規〕
- ◆清須市第2次総合計画の策定に着手〔新規〕
- ◆公共施設等総合管理計画の策定に着手〔新規〕
- ◆市制施行10周年記念事業の実施〔新規〕
- ◆番号制度導入に向けたシステム改修の実施〔継続〕
- ◆個人番号カードの交付を開始〔新規〕



◆雨水貯留施設を設置予定の枇杷島公園



◆認定こども園を整備予定の夢の森保育園跡地

便利で快適に暮らせるまちづくり

- ◆幹線道路の計画的な維持管理を推進〔新規〕
- ◆橋梁の計画的な維持管理を推進〔継続〕
- ◆橋梁の架け替えを推進〔継続〕
- ◆名鉄名古屋本線高架事業を推進〔新規〕
- ◆土地区画整理事業を推進〔継続〕

歴史・伝統・文化・教育を大切にするまちづくり

- ◆織田信長サミットの開催を支援〔新規〕
- ◆いじめ問題対策連絡協議会を設置〔新規〕
- ◆学校施設長寿命化等計画を策定〔新規〕
- ◆小・中学校体育館の非構造部材耐震化を実施〔継続〕



◆学校施設長寿命化等計画の策定に向けて小・中学校校舎の構造体耐久性調査を実施

